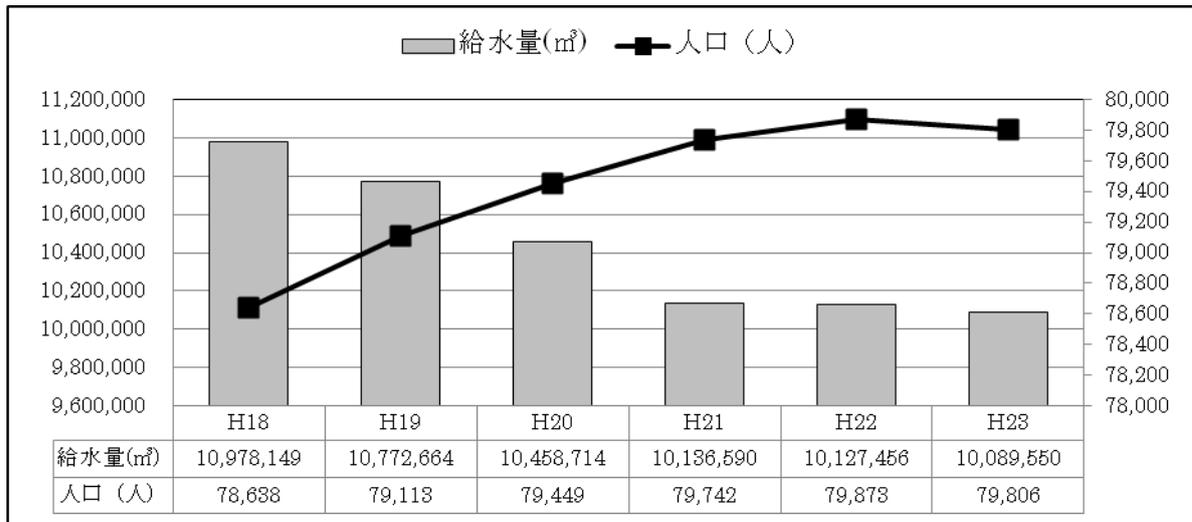
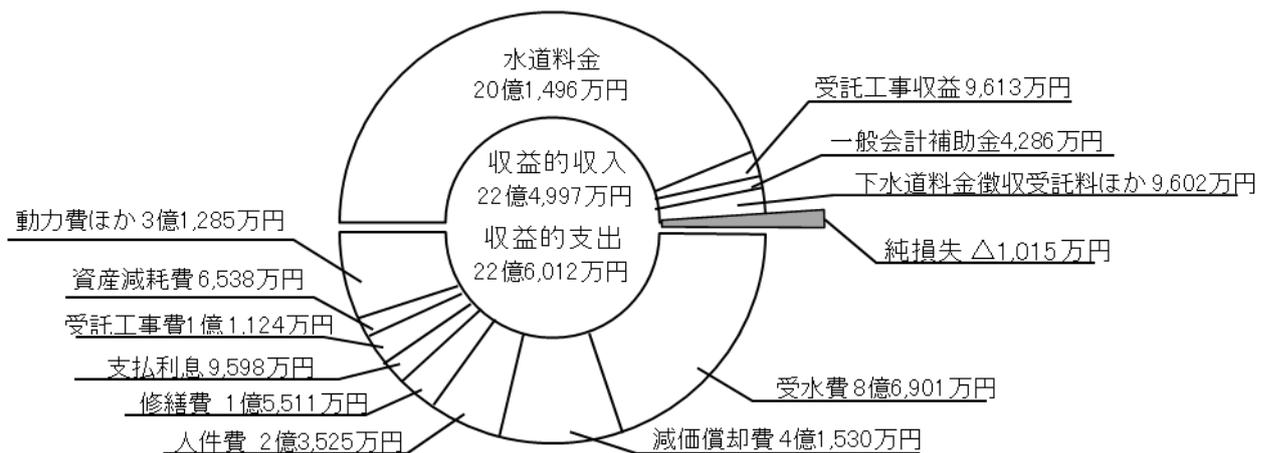


◆給水量と給水人口の推移



◆収益的収支(消費税抜き)



収益的収支は、お客さまからいただいた水道料金や給水管の引き込み工事代金などの収入と、各家庭や店舗・会社・工場等へ水道水をお届けするためにかかる費用や給配水管の工事費、企業債の支払利息、減価償却費などの支出からなります。

収入は、給水収益(水道料金)20億1,496万円、給水管の引き込み工事料などの受託工事収益が9,613万円、地下水保全等の一般会計からの補助金が4,286万円、下水道使用料徴収受託料などその他の収益が9,602万円で総額は22億4,997万円となりました。

一方、支出は、京都府営水道の受水費が8億6,901万円、減価償却費が4億1,530万円、人件費が2億3,525万円、修繕費が1億5,511万円、支払利息が9,598万円、受託工事費が1億1,124万円、資産減耗費が6,538万円、動力費ほかの費用が3億1,285万円で総額は22億6,012万円となりました。

この結果、収益的収支は、1,015万円の純損失となりましたが、前年度繰越利益剰余金3億1,766万円と差引きし、未処分利益剰余金3億222万円を翌年度へ繰越すことができました。

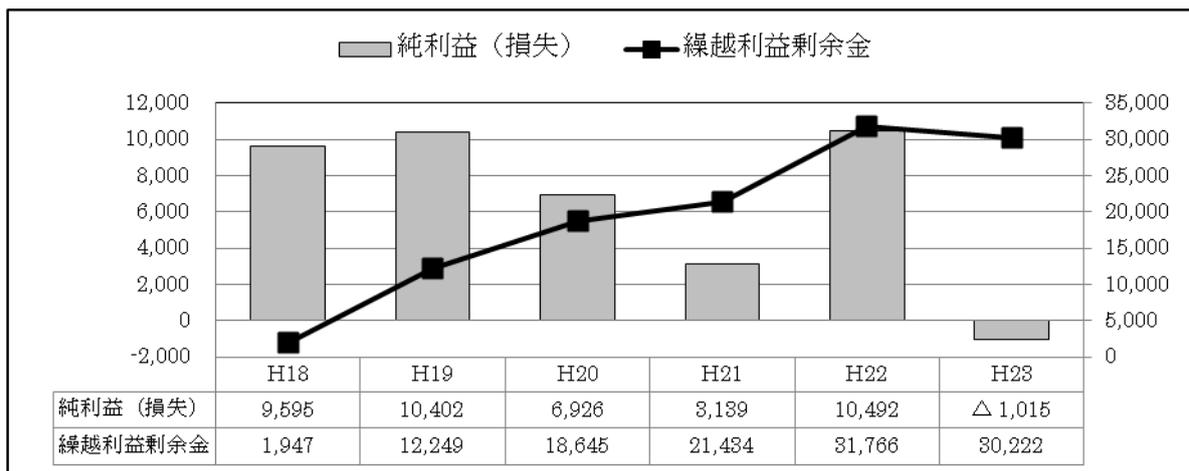
◆収益的収支の対前年度比較

(単位:万円、%)

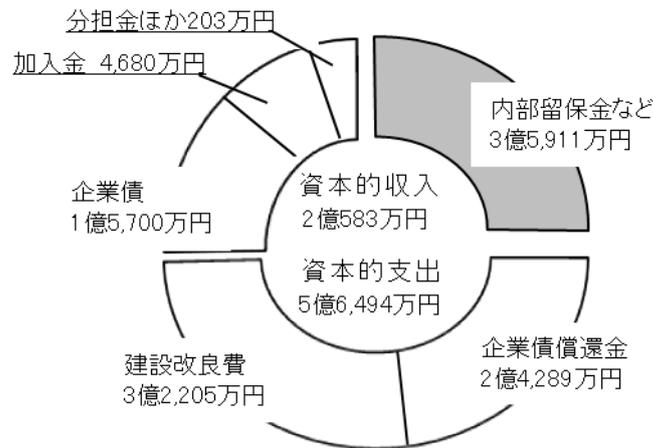
区分	H23 年度	H22 年度	増減額	増減率
収益的収入	224,997	239,097	△ 14,100	△ 5.90
水道料金	201,496	216,345	△ 14,849	△ 6.86
受託工事収益	9,613	7,162	2,451	34.22
一般会計補助金	4,286	6,968	△ 2,682	△ 38.49
下水道料金徴収受託料ほか	9,602	8,622	980	11.37
収益的支出	226,012	228,605	△ 2,593	△ 1.13
受水費	86,901	96,148	△ 9,247	△ 9.62
減価償却費	41,530	42,306	△ 776	△ 1.83
人件費	23,525	22,770	755	3.32
修繕費	15,511	15,247	264	1.73
支払利息	9,598	9,892	△ 294	△ 2.97
受託工事費	11,124	8,990	2,134	23.74
資産減耗費	6,538	1,123	5,415	482.19
動力費ほか	31,285	32,129	△ 844	△ 2.63
純利益	△ 1,015	10,492	△ 11,507	△ 109.67

◆純利益(損失)と繰越利益剰余金の推移

(単位:万円)



◆資本的収支(消費税込み)



資本的収支は、資金の借入(企業債)や工事分担金などの収入と、水道施設の新設・更新工事などに係る費用や企業債の元金償還に要する経費などの支出からなります。

平成23年度は、施設の再構築に伴う北配水池造成工事、長法寺祭ノ神～力池地内送水管布設替工事、井ノ内芝山地区送配水管布設工事、奥ノ院系配水管新設工事、東第2浄水場濾過ポンプ取替工事、平成22年度からの繰越工事で東ポンプ場高圧受電施設更新工事などを行いました。これに無線装置の購入などの固定資産取得費と事務費を合わせ建設改良費は3億2,205万円となりました。また、企業債の元金償還金が2億4,289万円で支出総額は5億6,494万円となりました。

これらに充当する資金として、企業債(借入金)が1億5,700万円、加入金が4,680万円、分担金ほか203万円で、収入総額は2億583万円となりました。収入総額から支出総額を差し引いた額は3億5,911万円の不足額となり、損益勘定留保資金(減価償却費などの現金を伴わない費用)などで補てんしました。

◆資本的収支の対前年度比較

(単位:万円、%)

区分	H23年度	H22年度	増減額	増減率
資本的収入	20,583	14,541	6,042	41.55
企業債	15,700	11,100	4,600	41.44
加入金	4,680	3,355	1,325	39.49
分担金ほか	203	86	117	136.05
資本的支出	56,494	53,791	2,703	5.03
企業債償還金	24,289	30,528	△ 6,239	△ 20.44
建設改良費	32,205	23,263	8,942	38.44
資本的収支不足額	35,911	39,250	△ 3,339	△ 8.51